【参考資料２】

新潟市障がい福祉課
平成 25 年 8 月 22 日
第 3 回条例検討会資料

障がいを理由として生きづらさ・差別等の募集事例（教育分野）

事例１

事例	小学校時(約 20 年前)、入学式から親がそばに居ないと駄目な状態だったのに、椅子も用意してもらえず、授業もひとり教室に置かれ、友達から「頭がピーマンだ」とからかわれても、先生も注意もせずに笑っている。		
改善提案	―		
属性	肢体不自由、知的／30 歳／男性／中央区	事例応募者	障がい者の家族

事例２

事例	小学校時(約 20 年前)、他のクラスメートの鉢が無くなったからという理由で、我が子(障がい者)の鉢を、先生が勝手にあげてしまった。		
改善提案	―		
属性	肢体不自由、知的／30 歳／男性／中央区	事例応募者	障がい者の家族

事例３

事例	小学校時(約 20 年前)、校長が教育委員会へ行き、特別支援学級のある学校へ行けと追い出されてしまった。今でも何故、母としてもっと強くいなかったのか、後悔ばかりしている。今なら戦った。あの時は、毎日泣いていた。		
改善提案	―		
属性	肢体不自由、知的／30 歳／男性／中央区	事例応募者	障がい者の家族

事例４

事例	普通の人との差が激しい。		
改善提案	その人にあった教育を。		
属性	精神／16 歳／男性／南区	事例応募者	本人

事例５

事例	難病・障がいを持つ子どもへの差別は、数多く経験してきた。子どもに障がい（知的）があると、その母親に対しても、バカにした態度で接してくる教師がいた。学校において、「やめてもらい」という様な言葉を発せられると、親は辛いです。		
改善提案	保護者は、病気について良く勉強することが大事です。教師も、難病に伴う障がいについて勉強し、理解して欲しい。 相互の理解やコミュニケーションの必要性を感じます。		
属性	知的・発達障がい・難病／39 歳／男性／中央区	事例応募者	障がい者の家族

事例６

事例	学校でのバカ扱い。勉強させない。子どもは先生が見ていないところでいじめる。		
改善提案	―		
属性	―	事例応募者	―

事例７

事例	市内の某私立大学を受験しようとした全介助を要する人に対し、その大学は学内にいる間、介助を用意できなければ、試験の結果とは別に入学をみとめないこともありうるとの考えを示した。 本人と保護者は、経済的な負担も大きいことから、学内での生活に支障がでない範囲での介助を確保すると伝えた。 試験後、大学から保護者に連絡があり、試験には合格しているが、学内にいる間、大学が求めている介助体制が取れるかどうか、その返事をもらうまで入学の決定については預かりおくとの考えが伝えられた。 最終的にこの受験者は、他の私立大学への進学を選んだ。		
改善提案	―		
属性	―	事例応募者	―

事例８

事例	中学までは地元の学校の通常学級に通っていた障がいのある生徒が、高校進学にあたって、希望する学校がありながらも、成績上の理由ではなく、義務教育と違い、介助員が配置されないことを理由に、特別支援学校への進学を選ばざるを得ないケースがある。 また特別支援学校ではカリキュラムの関係で、大学進学を考えた場合、工学部の受験は非常に難しくなる。		
改善提案	高等教育における障がいのある生徒の受け入れ態勢の整備を設置者と各行政機関が一体的に進めていく必要がある。		
属性	―	事例応募者	―

事例９

事例	定員内であるにも関わらず、高校受験で不合格にされ続けた。（高校に行く意味があるのかなど差別発言あり）		
改善提案	―		
属性	知的／27 歳／男性／西区	事例応募者	障がい者の家族

事例１０

事例	教育が出来なかった。（地域で）		
改善提案	―		
属性	知的、発達障がい／39 歳／女性／西区	事例応募者	―

事例１１

事例	教育に関して教えてやっている、見てやっているの学校側の差別があった。		
改善提案	―		
属性	知的／女性	事例応募者	―

事例１２

事例	小学 6 年生（特別支援学級）修学旅行は、参加させてもらえなかった。 その他の行事についても、参加させてもらう機会が少なかった。		
改善提案	―		
属性	知的、発達障がい／37 歳／男性／北区	事例応募者	―

事例１３

事例	教育の権利があっても、行きたくても、行けなかった（過去のことだが）。		
改善提案	―		
属性	肢体不自由／58 歳／男性／北区	事例応募者	本人

事例１４

事例	受け入れてくれる幼稚園が少なかった。		
改善提案	―		
属性	知的、発達障がい／22 歳／男性／西区	事例応募者	―

事例１５

事例	義務教育の時，家族が、支援学校をよく知らなくて、普通の学校に学びました。そこでイジメとかありました。けど誰も悪くないです。		
改善提案	―		
属性	知的／38 歳／女性／中央区	事例応募者	本人

事例１６

事例	学校での授業（黒板が見えない）		
改善提案	―		
属性	視覚／34 歳／男性／中央区	事例応募者	本人

事例１７

事例	いじめ		
改善提案	―		
属性	聴覚・平衡機能、精神／33 歳／女性／江南区	事例応募者	―

事例１８

事例	今、中 3 なのですが、一般校の普通科の高校にエレベーターなどが無いため、受け入れられないとの事。		
改善提案	―		
属性	肢体不自由／14 歳／女性／東区	事例応募者	―

事例１９

事例	小学校では、まともな教育を受けられなかった。支援学校では個々の障がいの程度により、きめこまかい介助をする…と言われていたのに、結局、介助員の人数が足りず、重度の子につきっきりだった為、うちみたいな、軽、中度の子は、放ったらかしにされた 6 年間だった。 「介助員の人数を増やして欲しい。」とお願いしても、「子供の人数によって介助員の人数が決められているため無理。」と言われた。 子供の人数?　軽度の子が 5 人と重度の子が 5 人… それでも、同じ人数の介助員というのは、おかしい!!		
改善提案	―		
属性	知的、発達障がい／15 歳／男性／西蒲区	事例応募者	―

事例２０

事例	小学校入学の為見学に行ったら、給食を 2 階まで運ぶエレベーターがあり、自分は車イス利用しているので、このエレベーターで 2 階へ移動したいと言ったら、「衛生上よくない。」と当時の学校長に言われた。（現在は、車イスの児童はそのエレベーターを利用しているとのこと。）		
改善提案	―		
属性	知的、肢体不自由／13 歳／男性／南区	事例応募者	―

事例２１

事例	勉強は普通にできて、環境の変化には適応できないので、友達からは「グズグズしている」「早くやればいいじゃん」と言われ、教師から「力があるのにやろうとしない」と言われ、嫌な思いをすることがあります。		
改善提案	―		
属性	発達障がい／14 歳／男性／西区	事例応募者	―

事例２２

事例	（差別というのとは、違うかもしれませんが…）小学校に入学するのに、相談など、健常の子供さんに比べて、親が動かざるを得ない事が多かった。 支援学級を志望したが、1 月頃まで、「大丈夫だろうか？」と気をもみました。		
改善提案	―		
属性	知的／6 歳／女性／江南区	事例応募者	―

事例２３

事例	地元の学校に行けなかった。		
改善提案	―		
属性	肢体不自由／11 歳／男性／南区	事例応募者	―

事例２４

事例	障がいに対する認識不足からか、学校生活で何か問題が起きた時、我が子のことが疑われることが多くあった。 その他、差別・嫌な思いは、数えられないほど経験してきたと思います。		
改善提案	―		
属性	知的、発達障がい／14 歳／男性／中央区	事例応募者	―

事例２５

事例	私立だが、年少時に幼稚園をやめさせられた。やめてよかったが。（支援できないのでやめてほしいと言われた。） そこの幼稚園の園長は、「障がい児（者）イコール人間にあらず。」というような考えを待っていた。（自閉症うんぬんという話を何度も聞いた。）以前の教員だった。		
改善提案	―		
属性	知的、発達障がい／6 歳／男性／東区	事例応募者	―

事例２６

事例	小学校入学に当たって		
改善提案	―		
属性	肢体不自由／9 歳／男性／南区	事例応募者	―

事例２７

事例	就学前検診の時期に、すでにある学校へ進むことが決定していたのに、「規則だから」必ず受ける様に言われ、肢体不自由なうえ、学校へ行くのもやっとだったというのに学校→開業医→学校と移動を強いられ、とてもとても大変な思いと嫌な思いをした。 こういった事にもっと配慮をして頂きたい。現実を全て分かって頂けていないと確信した。		
改善提案	―		
属性	知的、肢体不自由／9 歳／男性／秋葉区	事例応募者	―

事例２８

事例	来年、就学ですが、学区の小学校（特別支援学級有り）に移動を理由に、学校見学の時から否定的な事を言われ、本人を見てからは就学委員会の判定に従って下さいと言われた。		
改善提案	―		
属性	知的、発達障がい／6 歳／男性／西区	事例応募者	―

事例２９

事例	無差別に毎日、大勢の人が障がいという言葉を言ってきます。本人と親にも言ってきます。苦しいです。子供と一緒に教諭が言葉を教えられないと 2 年生の時に言われ、それから子供に親が教えるため自ら自閉症の知的障がいがあり、言葉が出るようになりました。 がんばっているのに言われるのはなぜ? 学校の教諭が言っている場合があります。		
改善提案	―		
属性	知的、発達障がい／43 歳／女性／江南区	事例応募者	―

事例３０

事例	小学校に行っている時に交流学級へ出かけていると、クラス担任の対応が余計な事が増えるような態度や言動で傷つくことがある。6 年生の修学旅行の時に〇〇が同行する事を強く求められ参加しました。 しかし、その事により支援学級の先生は同行せず、〇〇が自分の子供をみるという事をさせられた。		
改善提案	―		
属性	知的／14 歳／男性／秋葉区	事例応募者	―

事例３１

事例	普通学校の入学を希望したが、受け入れてもらえなかった。		
改善提案	―		
属性	知的／12 歳／女性／江南区	事例応募者	―

事例３２

事例	小学校では普通学級に入りました。健常者との生活では、体の病気で歩く事が困難なのに、階段で手すりを使う事が許されず、「犬みたい」と言われた事があって学校に相談しました。		
改善提案	―		
属性	肢体不自由／13 歳／男性／西蒲区	事例応募者	―

事例３３

事例	現在は中学 2 年生です。特別支援学級で英・国・数を習っていますが、それ以外は、普通学級で習っていますが、友達との会話やふれあいで、一人でいる事が、多いと聞いています。担任の先生に相談しています。		
改善提案	―		
属性	知的／53 歳／男性／江南区	事例応募者	―

事例３４

事例	小・中学校の先生方に理解がない方がいる。そうゆう先生にあたった場合、学校生活が全て上手くいかない。 例えば、 ・他の生徒と上手く交流できないのは、障がいがあるので、仕方ない事ーと、つき放された。 ・自分の子だけ配慮を求めるのは、ずうずうしーと伝われた。		
改善提案	―		
属性	知的、発達障がい／14 歳／男性／東区	事例応募者	―

事例３５

事例	中学入学の際、普通学級を希望した時、当時の教頭に何か、問題がおきたら、自己責任で、と言われた。		
改善提案	―		
属性	発達障がい／15 歳／男性／中央区	事例応募者	―

事例３６

事例	教育の現場では「特別支援」とは名ばかりで、実際は昔と変わっていません。空時間（担任不在等）は図書室で絵本を見ているか。パソコンで遊ばせている状態で、良い所を伸ばそうという意識に欠けているように思います。		
改善提案	―		
属性	知的／11 歳／男性／中央区	事例応募者	―

事例３７

事例	教育（同学年の行事に参加しないでほしい）		
改善提案	―		
属性	知的、発達障がい／8 歳／男性／東区	事例応募者	―

事例３８

事例	通常学校に在籍していたため、障がいが分からず、気づかずに誤った対応をさせたため（叱責〉、現在二次障がいを起こしています。 また、現在通学中の学校の先生方は、障がいを分かっており配慮してくれているが、本人の気持ちに共感してもらえないため、差別ではないが、理解者がいないという困り感がある。 また、通常授業を皆と一緒に受けたが、受けても分からない。特に、科目、内容により理解力にばらつきがある現実がある。 障がいのない子にも習熟度別があたり前となることを願っています。		
改善提案	―		
属性	発達障がい／13 歳／男性／中央区	事例応募者	障がい者の家族

事例３９

事例	特別支援学級から交流学級へ授業を受けに行った時、「病気なんでしょ。」と言われ、あまり関わってくれない。誰も話しかけてくれない。		
改善提案	―		
属性	発達障がい／13 歳／女性／中央区	事例応募者	―

事例４０

事例	中学校で特別支援学級に在籍しても、まったく担任から見放され、「あなたは見れません」とはっきり言われ、校長にも「あなたのおかげで仕事ができない」と言われた。また、勝手に部活動の保護者会を開かれ、特別支援学級に居ること、居たことを暴言された。人権もなかった。		
改善提案	―		
属性	発達障がい／14 歳／男性／南区	事例応募者	―

事例４１

事例	教育現場で、未だに発達障がいへの理解がなされていないと感じています。また、プライバシーの保護についても、不十分と感じています。		
改善提案	―		
属性	発達障がい／12 歳／男性	事例応募者	―

事例４２

事例	出来る子供たちだけを真剣に指導し、勝手に出来ないと判断。 好きな事をさせている。 校外での学校の行事は外される。		
改善提案	―		
属性	視覚／12 歳／女性／東区	事例応募者	―

事例４３

事例	小学校の時、校長や教頭、親、学級の先生が、子供の事（自身の事）を理解せず、蔑視した。先生達は、自身の保身の為に子供（自分）の事を考えず、回りばかり気にして市の音楽会に出してもらえない事があり、教育委員会に話して出席できる様にしてもらった。教師が全然障がいを理解していない人が多い！		
改善提案	―		
属性	知的、発達障がい／18 歳／男性／北区	事例応募者	―

事例４４

事例	小学校・中学校・高校と、いじめがずっとありました。		
改善提案	―		
属性	肢体不自由／22 歳／男性／東区	事例応募者	―

事例４５

事例	支援学校（旧養護学校）の生徒と一緒に、ある会社で体験仕事をした時、卒業間近の生徒を優先させてと言われて……就職が出来なかった。（２４才の頃） 中学の時、他の学校を勧められた.（教頭が個人的に） いじめはひどかった。		
改善提案	―		
属性	精神、発達障がい／32 歳／男性／西区	事例応募者	―

事例４６

事例	〇〇中学に在学中、部活の入部を断られた。（陸上部） 高校に進学後、一般の大会に出場し、入賞することができたが、身体を鍛えることができていたら、と残念に思っています。 「〇〇中学」だから「□□組（特別支援学級）」というクラス名だったが、クラスの保護者の中では「差別」と感じている人が多かった。 ３年の修学旅行の際、事前のパンフレットに「□□組」のメンバーがそっくり欠落。「手書き」となったが、先生も気づかない事がショックだった。 同様に、卒業アルバムにクラスごと載せるのを忘れられた。卒業アルバムを生徒に作らせたから（？）という説明だったけど、つまり「教育」が差別を育てている思う。		
改善提案	―		
属性	内部機能、知的／22 歳／女性／西区	事例応募者	―

事例４７

事例	小・中学校のころ、知的障がいと分かってもらえず、いじめられていた。差別を言えることは、中学校に入ってからだった。本当に苦しかったし、辛かった。		
改善提案	―		
属性	肢体不自由、知的、発達障がい／36 歳／女性／北区	事例応募者	本人

事例４８

事例	小学校のときにいじめられた。		
改善提案	―		
属性	肢体不自由／48 歳／女性／東区	事例応募者	本人

事例４９

事例	学校生活（中学校時代）でのからかいや無視。		
改善提案	―		
属性	精神／30 歳／女性／秋葉区	事例応募者	―

事例５０

事例	教育…いじめ。理解力不足のため、いい加減に扱われる。		
改善提案	―		
属性	聴覚・平衡機能、精神／33 歳／女性／江南区	事例応募者	―

事例５１

事例	通学先の学校にて、「バカ」「アホ」「へんな子」などの言葉を子供達から受けた。		
改善提案	―		
属性	知的、発達障がい／12 歳／女性／西区	事例応募者	―

事例５２

事例	医療的ケアを教育の一環として考えてもらえない。		
改善提案	―		
属性	知的、視覚、肢体不自由／10 歳／女性／江南区	事例応募者	―

事例５３

事例	先生に叩かれた。		
改善提案	―		
属性	発達障がい／12 歳／男	事例応募者	本人

事例５４

事例	中学校でのいじめ		
改善提案	―		
属性	発達障がい／13 歳／女／中央区	事例応募者	―